

らくだ図書館

常木らくだの小説投稿ブログ



● 常木らくだ ●

月初めなので、まずはアレを。
もはや恒例となったパブ版です。

らくだ図書館（22）

<http://p.booklog.jp/book/78664>

そういうわけで。
ボヤボヤしているうちに、早くも11月になりました。

昨日は10月末ということで、色んな告知があったようですね。

ヒーロー文庫の結果が出たり、ラノベ文芸の発表があったり。
あと、ファンタジアの1次は、11月下旬になったとか。

しかし、ヒーロー文庫さん……。
評価シートの発送時期について、少しは言及があると思ったのに……。

そして最終結果としては、応募総数が760作品で、受賞が4作品というわけで。

えっと？
これってつまり、受賞確率0.5%ですよ？

……………。
もっともラノベ作家になりやすい賞???

なんて皮肉を口にしても、決して前には進めません。

どれだけ狭き門であっても、力のある方々はちゃんと受賞されているので、自分も見習って頑張ります！

かなり前に手帳を購入済みなのに、うっかり他の手帳に一目惚れしてしまい、来年の手帳が2冊になりました。

そんなわけで、1冊を普通に使い、1冊を執筆専用に使います。

これが、とってもいい。

執筆専用の手帳があると、管理が非常に便利です。

何を記入するかというと、

- ・進んだ枚数と文字数
- ・その日に書いたシーンや、次に書くシーンをメモる
- ・創作できなかった日は、なぜ時間がなかったのか、理由を具体的に記入

まだ始めて1か月程度ですが、これをする则自分でも進捗が掴みやすいし、後で見た時にも面白いです。

このシーンすごく難しいのに、こんなに短期間で書いたのか、とか。

中旬は遊んでしまって、枚数が進まなかった、とか。

あと自分は、手帳が徐々に埋まっていくのが好きなので、紙面を充実させるために執筆を頑張るといふ、素敵な本末転倒が起こったりも。

そんなわけで、スケジュール管理が好きという方は、試してみてもいいかなと思います。

特に週間タイプだと、書き込み欄が大きいから、執筆専用にお勧めです。

そこまでするのが面倒なら、小さな卓上カレンダーを用意して、その日に進んだ枚数を赤ペンで書き込むだけでも、やる気がアップするのではないかなと思います。

他にもいい執筆方法がないか、色々試してみようと思います。

本日は話題が古い上に、しかも地域ネタですが……。

改装中だった大阪中央郵便局って、いつの間にやら、リオープンしていたのですね。

郵便局ホームページ

<http://map.japanpost.jp/pc/syousai.php?id=300141061000>

大阪駅の桜橋口を通るたびに、「いつオープンするんだろう？」と思っていたのに、実は奥の方に完成してとっくに営業していたという（汗）

いやはや。

知人に教えられて、初めて知りました。

というわけで、内部をチェックしましたが、「郵便物の引受」窓口がズラッと並んでおりました！

切手・ハガキ販売とは独立した、郵便物を預ける専用の窓口です。

数えなかったけど、8つ程度あったかな？

やっぱり、ほら。

小説投稿者としては、24時まで営業している郵便局は、ありがたいですよ。

締切りに余裕があれば、近所のポストで用が足りるけど、そうじゃない場合だって頻繁にあります。

準備完了が、締切り当日の23時台になった場合、ここへ駆け込めばギリギリセーフ！

まあ、ウチから梅田まで結構遠いですが、地元には24時までの郵便局がないので、いざとなったら利用しようと思います。

本日の話題は、投稿者なら避けては通れない、プリンターの問題について。

今はインクジェットが主流の世の中ですが、自分が使っているのは、キャノンのレーザープリンター LBP3100 です。

この表でいうと、一番右下の。

<http://cweb.canon.jp/satera/lbp/comparison/pdf/sateralbp-spec.pdf>

最下位モデルですが、十分に速いし綺麗だし、モノクロの文章印刷ならこれで充分！

古い型なので、今はだいぶ安くなっていて、だいたい1万円くらいの価格。
というわけで、自分は原稿の印刷専用として、このプリンターを愛用しております。

まあ、ね……。

家族用のプリンターを使っても、別に文句は言われませんが……。

ただ、リビングで印刷していると、

「ああ、懲りもせずに、また投稿するのか」

「どうせ落ちるのに、かわいそうなヤツめ」

「まあ仕方がないから、知らぬ振りをしてやろう」

という目で見られてしまい、無言のプレッシャーが半端ないので（汗）

そんなわけで、自分の部屋に専用機を設置してからは、書きかけの原稿も気軽に印刷できるようになりました。

1万円と言うと高く聞こえますが、アニメのDVDなんて7000円くらいするので、それを思えばいい投資だと思います。

速くて綺麗でお手軽な、レーザープリンター。

原稿の印刷事情でお困りの方は、検討されてみてはいかがでしょうか。

自分の受賞を心の底から信じ込んで、筆名の名刺を200枚作った、とらたぬキングの常木らくだです。

ああ、いいさ。

アイツはバカだと笑っておくれよ。

っていうか、前にも写真を載せたので、常連の読者様はご存知ですよ？

念のため、再度掲載。

コチラが証拠写真でございます～。



しかし、今日改めてこれを見て、大変なことに気が付きました。

……………。

……………。

本名書いてまへんがな。

ダメじゃん！？

筆名しか書かなかったら、郵便物とか届かないよ！？

というわけで、作り直し決定。

不要になった200枚の名刺は、仕方がないので、手裏剣として使おうと思います。

それにしても、すでに作ってから3年くらい経つのに、本名がない点にまったく違和感を覚えなかった……。

それだけ愛着のある筆名なので、この名前では是非デビューできるよう、これからも投稿を頑張ります！（無理やりまとめ）

昨日の名刺が好反応だったので、別バージョンも載せておきます。

ええ、そうです。

デビューしてないのに、何種類もあるのです。



はっはっは！

とらたぬキングの底力を思い知ったか！

無駄にラスボス口調。

でも、素敵でしょ？

作家らしい雰囲気意識して、キャメル色の背景に古い辞書。

しかしやはり、本名の記載なし。

それに加え、もうすぐ引っ越しする予定なので、住所も無駄に。

……………。

なんか、ね。

最初に就職した職場で、上司に言われたんです。

お前はものすごく頑張っているが、頑張る方向を根本的に間違えている、と。

その当時は納得できずにムカッときたんですが、なんか今、上司が正しかったような気がうっすらと……。

そんな迷走系ワナビですが、今後もよろしくお願いします。

とりあえず、筆名の名刺を作る時は、必ず本名を入れましょうね！（教訓）

寂しい失敗記事が続いたので、今回は真面目に執筆の話を。

皆様は、個々のシーンを書く前に、使う枚数って決めてますか？
自分の場合、プロットを組まないこともあり、基本的には無計画です。

ただ最近、それだと不安を感じるようになり、「だいたい何枚」くらいは決めてから書きます。

といっても、そこまで厳密じゃないですが。

このシーンは、単なるつなぎだから、3枚でいいかな。
このシーンは見せ場だから、ちょっと長めに、10枚くらい取っておこう。

という感じの、アバウトなノリ。

そもそも計画が適当なので、実際に書いてみて枚数が上下しても、そんなに気にせず進めます。

ただ、アバウトではあっても、一応枚数を決めておくと、すごく書きやすいと大発見！

プロットがっちり派の方々には、「何を今さら」な意見だと思いますが、自分で枚数の配分を把握しておくと、最終的に全体の調整もしやすいです。

さほど重要じゃないシーンなのに、枚数を使いすぎて冗長になっている、とか。
逆に、すごく複雑なシーンなのに、説明不足で駆け足になっている、とか。

使った枚数を意識しないと、ついつい漫然と書いてしまうので、最近はその点を意識するようになりました。

まあ、そんな感じで、今日は執筆中のひとりごとでした。
これからも、自分にとって進めやすい書き方を、日々研究していこうと思います。

タイトルの通り、H J 文庫大賞の応募総数が、公式ブログで発表されました。

なんと！

今回の総数は、473作品！

リニューアルの影響か、前回よりも増えてます。

でも、もっとググーンと伸びると思っていたので、個人的にはちょっと意外な印象を受けたかも。

ちなみに自分は単純なので、「1次通過を増やす」の誘惑に負け、他賞へ出す予定だった作品をH Jに投稿しました。

べっ、別にいいじゃん！

1次で大騒ぎするなって言われようが、それでも1次通過したいのが本音だよ！

まあとにかく、発表は来年の1月上旬ということなので、ドキドキしつつ更新を待ちたいと思います。

しかし実を言うと、今回のH Jで一番気になっているのは、読者投票のための新作を執筆するのに、どれくらい時間が貰えるのかという部分……。

まあ、ね。

最終まで行かないと、参加できませんけど。

ただ、変わったシステムなので、どんな感じで実施するのか興味津々。

もちろん最終まで行きたいですが、仮に途中で落ちてしまっても、読者投票がどんな感じなのか、今後の進行を見守りたいと思います。

本日は、日本語検定1級を受けてきました。

相変わらず難しかったです、前回よりは出来たと思うので、受かっているといいなあーと思います。

え？

ブログに手応えを書くのは死亡フラグ？

そう思ったアナタ、どうぞご心配なく！

死亡フラグを立てた上で、渾身の落選記事を書くのが、自分の最大の趣味ですから！

とまあ、そんな面倒くさいDMですが、今後も一つよろしくお願いします。

そうそう。

DMといえば、日本語検定の合否は、電話でも確認できるらしいです。

基本はウェブ確認なんですが、ネット環境のない人のために、電話サービスをやっているとかで。

これってつまり、もし不合格だった場合は、事務のお姉さんに「不合格です」と宣告されるわけですね。

ゴ、ゴクリ……。

ネットで確認できるけど、そのシチュエーションは、ちょっと体験してみたいかも……。

あとそれから、来週は語彙・読解力検定1級です。

正直、勉強のために執筆の時間が減っていますが、長い目で見ればきっと役に立つと信じて、真面目に取り組もうと思います。

アスキー・メディアワークスの運営する、女性向けポータルサイト「魔法のいらんど」。

すでにご存知の方も多いと思いますが、こちらのサイト内企画として、「魔法のいらんど大賞」が開催されています。

公式ホームページ（エントリー要項）

http://ip.tosp.co.jp/p.asp?l=award_7th_outline2

参加の方法は、なろう系のコンペと一緒に、作品を公開してエントリーする形式です。

上記ホームページに記載がありますが、9月期のエントリー作品が1993本で、そのうちノミネートされたのが18本。

スゴイ倍率です。

公募で最終に残るくらいの競争率です。

しかし、魅力は充分にあるんじゃないかと。

何しろ運営がAMWだけあって、魔法のいらんど発の作品が、MW文庫から出版されたりしているので。

なので、MW狙いで女性向け作品を書いている方は、選択肢の一つに入れてみるのもいいのではないのでしょうか。

ちなみに、自分も参加したいのですが、今書いている作品がなかなか進まず……。

決して難航しているわけではなく、気持ちは波に乗ってるんですが、なかなか時間が取れないです（泣）

とはいえ、まだ3週間弱あるので、できる限り頑張ってみようと思います！

本日ほぼ一齐に、電撃の選評が届いた模様です。

かっ、勘違いしないでよね！

別にうらやましいなんて、少しも思っていないんだから！

という、お決まりのツンデレ台詞を口にしつつ、本心は記事タイトルの通りでございます。

まあ、でもね。

バレンタインのチョコレートなんかだと、自分ではどうにもできない面がありますが、評価シートをもらえるかどうかは、ある程度自分の頑張りを変えられますから。

もちろん選評をもらうことが目的ではなく、目指しているのはあくまでも受賞ですが、次回はこんな寂しい思いをしたくないので、さらに気合いを入れて臨もうと思います。

まあ、ぶっちゃけた本音を言うと、次回の電撃の結果が出る前に、他賞でデビューしたいんですけど……。

あと、今回改めて思ったのは、投稿仲間の存在は大切だなーと。

何度も書いている通り自分は全滅しましたが、他の方の投稿作品を読ませていただいたり、自分の落選後も2次や3次の発表を心待ちにしたり、間接的に楽しんだり勉強したりできました。

自分一人だけだったら、決して叶わなかったことなので、その部分にも感謝ですね。

とにかく、そんなわけで。

今年の悔しかった気持ちは、ここでスッキリ入れ替えて。

参加表明をするには早い時期ですが、次回も必ず参戦しますので、皆様どうぞよろしくお願ひします！

昨日、今日と、特に発表があったわけでもないのに、アクセス数が不自然に伸びております。

これは、アレですか？

ひょっとすると、電撃の選評効果ですか？

親指をくわえて悔しがる常木らくだを見るために、多数の皆様が訪問していらっしゃるのですか！？

ええ、わかりました。

そういうシチュエーションは、嫌いではありませんので、舐めるように見てくださいますし。

しかし真面目な話をすると、このブログの読者様（ありがとうございます！）は、相当な実力を持っている方が多数のようです。

たまに応援メッセージをいただくのですが、最終選考の常連ですとか、デビュー決まりましたとか、マジでこっちがビビるくらいで（汗）

というわけで、以下の結論。

『らくだ図書館』を毎日読むのは、受賞フラグです！

『らくだ図書館』を毎日書くのは、死亡フラグですけどね！（← オレだ）

まあ、あれこれ冗談を言っても、ブログを書くのは大好きなので、「もういいよ」と言われてもやめたくないのが本音です。

というわけで。

これからも、捨て身の姿勢で頑張りますので、どうぞよろしくお願いします。

以上、常木らくだがお送りしました！

チーン。
書き直し決定。

って、あれれ？
なんかデジャブ？

というわけで、2度目の書き直しをする為、進捗枚数が0枚に戻りました。

なんかもう、没にした原稿の枚数を数えたら、とっくに1本完成するはずの量なんですけど……。

まあでも、決して苦行なんかではなく、好きな作品に時間をかけられるのは、そもそも幸せなことですからね！

単に球数を増やす為の作品なら、たぶんとっくに妥協してます。
そうじゃなくて、何度も書き直しを選ぶのは、それだけその作品が好きだから。

そんなわけで、時間はかかりそうですが、もうちょい試行錯誤してみます。

それから話は変わりますが、日本語検定の答え合わせをしたら、ものすご〜く微妙なラインでした。

80%以上が合格のところ、正答率が79%……（汗）
単純に1問1点ではないみたいなので、配分によっては合格できるかなーという。

合格発表は12月上旬らしく、その頃は投稿中の賞の発表もあるので、今からドキドキが止まりません。

そんな最近ですが、まずは書き直しを頑張って、執筆中の作品を完成させたいです！

本日は、エッセイの賞の紹介を。

リンダ・ライトエッセイ大賞

<http://lindapublishers.com/essay>

詳細は上記HPにあります。概要はこんな感じでしょうか。

募集ジャンル : 筆者本人の体験記

制限字数 : 8000字以内

締切り : 2014年1月31日(金)

応募形式 : ワードファイルをメールに添付

エッセイの賞って貴重ですよ。

おまけに、受賞すれば出版に繋がるようなので、自分も参加してみようかなと思います。

しかし、一人一作品だけに、ネタ選びが逆に難しいところですね……。

要項に例として書いてあるのは、

「はじめてチャレンジしたことの一部分始終」

「外国で暮らしたときの珍しい体験」

「きつい職場で頑張っている毎日のこと」

「わたしたちの家族の楽しい習慣の数々」

任せておけよ！

どのテーマでも、全部書けるぜ！

いっそもう、『らくだ図書館スペシャル』を投稿しちゃおうか、みたいな。

63000文字という、無駄なボリューム感なので、実際は無理ですけど。

とにかく、締切りはまだ先なので、ゆっくり考えて挑戦しようと思います！

コピー用紙？

そんなもん、どれも一緒だろ？

と思って、お店に置いてある一番安いのを買ったら、蛍光ペンが滲んで使い物にならなかった件。

あーん！

ダンボール買いしたから、2500枚もあるうー！

もちろん実話ですが何か？

まあでも、蛍光ペンさえ使わなければ、投稿になんら支障はないので、ちびちび消費していこうと思います。

えっと。

1作品が100枚とすれば、25回投稿できる計算ですか。

ま、それくらい使うよねー。(← 精一杯の強がり)

でも正直、値段で即決したわけじゃなく、お店でちゃんと確認したんです。
見た目の白さも、触った時の厚さも、今まで使っていた紙とほとんど同じで。

だから買ったのに、蛍光ペンを引いた瞬間、明らかに品質が違ったという。

うーん……。

値段は嘘をつかない、か……。

そんな失敗談ですが、普通の印刷には問題ないので、投稿用（ペン入れしない用）に使おうと思います。

常木らくだは、万年2次落ち。

そんな愛ある言葉攻めを、検索キーワードから、ありがたく頂戴しました。

しかし、ですねえ。

入力して下さった方、本当にごめんなさい。

否定して申しわけないですが、その指摘は、正直言って大きな間違いです。

何故って？

最近の常木らくだは、どこへ投稿しても、2次まで行けないッ！

……………。

正解。

常木らくだは、万年1次落ち。

はい。

今のセリフ（↑）が、今日のオチです。

いや、でもね。

コメントをくださった方は、たぶんこう言って欲しくて、検索してきたんですよね？

わかってるぜ？

こういうのが、好きなんだろう？

とまあ、そんなノリで、今後も進めていきたいと思います。

実際、1次選考は単なる通過点に過ぎませんが、最近の自分はその1次も越えられないので、せめて万年2次落ちだった昔に戻れるよう、頑張っって書き続けようと思います。

検定が終わりました - 2013.11.17 Sun

こんばんは、常木らくだです。

小説投稿ブログなのに、「普通の雑談」記事が一番多いのは、ここだけの秘密です。

それはさておき、今日は検定でした。

先日の日本語検定に引き続き、語彙・読解力検定1級に挑戦です。

しかし……。

この検定の1級難易度は、相変わらず鬼ですね……。

あ、でも。

「.pdf」とか「.epub」とか、電子書籍の拡張子に関する問いがあって、その問題だけは確実に正解できました。

パブー配信の成果が、こんなところに。

イエーイ！

ワナビ万歳！

逆に言うと、解けた問題がリアルにそれだけなので、結果は確実に不合格だろうと予想されます。

まあ、いいさ！

無事に合格できるまで、何度も挑戦するんだい！

そんなわけで、語学系の検定が2つ済んで、あと歯医者の治療が終わったので、明日からは創作の時間を確保できるかな？

ゼロから書き直しをするので、11月の締切りは諦めますが、納得できるまで手放さない覚悟で臨もうと思います。

万年2次落ちの記事を書いたら、たくさんの反響をいただきました。
一例を紹介しますと、「大人の対応」「気にしないで」「万年1次落ちでも頑張れ」等々。

ありがとうございます！
皆様の応援を力に変え、これからも頑張ります！

あと、今じゃなく以前の話ですが、「常木らくだ 生きろ」というのがあって、コーヒーを吹いたことがあります。

ちょ、え！？
死にそんな記事って、何かあったっけ！？

まあ、常に瀕死であることは、間違いのない事実ですが……。

とにかく、ありがとうございました。
そういうセンス、自分は大好きです。

そんな最近ですが、真面目な話をすると、次回作の設定を思いつきました。

今取り組んでいる作品を、これから書き直すっていうのに、そっちの設定がどんどん固まって、何だかもう嬉しいやら心苦しいやら。

自分は基本的に、取り組み中の作品を仕上げないと、次の作品へ意識が向かないタイプなので、設定だけ先に浮かぶのはすごく珍しい状況です。

それを早く書くためにも、今はまず、執筆中の話を仕上げなきゃ！

昨日書いた通り、今月中という目標は諦めましたが、年内完成を目指して頑張ろうと思います。

皆様、こんばんは。

ガガガの応募要項が更新されて、同時に総数の発表がありました。

今回はなんと、1236本！

いやあ。

多いですね。

1200を越えたことは、公式ツイッターで知っていましたが、これって改めて見るとスゴイ本数ですよね？

ガガガの狭き門（2次通過が10数作品）は有名ですが、いきなり通過本数を増やすことはないと思うので、祭りが大変な状況になりそうな予感です。

ま、いいけどね！

最近の自分は、万年1次落ちだから、2次の虐殺なんて怖くないよ！

それに今回は、旧作1本を記念投稿しただけだから、結果なんてそれほど気にならないしー？

というのは、精一杯の強がり、本当はガクブルですが。

とにかく、今回は自分の周囲の参加率がスゴイので、発表が盛り上がることは間違いありません。

あと今年度は、えんため以降まったく通過できていないので、「発表前のドキドキ感」「通過中のワクワク感」に飢えております。

すでに送ってしまった物については、今から頑張ることはできませんが、まずは1次発表を楽しみに待とうと思います！

皆様、こんばんは。

富士見ファンタジアの1次発表がありました。

例によって、情報をまとめると、こんな感じですね。

応募総数 : 1046本
1次通過 : 190本
通過倍率 : 約18%

抽選じゃないんだから倍率データは無意味だよ、という意見もあるようですが、どれくらい通るかはやっぱり一番気になる部分なので、つつい計算してしまいます。

というわけで、今回は約18%。

およそ5本に1本が通過するという割合です。

1次通過された皆様は、おめでとうございます！

自分が参加していない賞でも、名前を知っている方が通過していると、こちらもテンションが上がって嬉しいです。

ちなみに自分が投稿しないのは、特に避けているわけではなく、単純に規定枚数の問題だったり。

富士見や講談社は規定枚数が多いので、80枚の作品を書く自分は、下限枚数に到達できないという……(汗)

ですが、最近は100枚以上の話を書くようになったので、チャンスがあれば投稿してみようと思います。

次の発表はたぶんガガガだと思うので、前回は言いましたが、楽しみに待ちたいです！

まどマギの映画 - 2013.11.21 Thu

『魔法少女まどか☆マギカ』の、劇場版映画を見てきました。

ネタバレになるので、詳しい感想は控えますが、とにかく色々と圧倒的でした。

ちなみに自分の特典フィルムは、真っ黒い背景にポツンと白い点がある、たったそれだけの内容という……
(泣)

なんだ、このフィルムは！

これじゃ、まどマギかどうかさえ、わからねえよ！

しかし、ロフトと梅田ブルク7のコラボ企画で、素敵なイラストカードをいただきました☆

写真を載せていいのか不明ですが、興奮した勢いで載せておきます。



わーい！

ランダム配布だけど、ロフトではマミさん、映画館ではまどかをゲット！

好きなキャラが当たって、帰りの電車で、終始ニヤニヤしてました。

そしてフィルムですが、家に帰ってよく見たら、詳しいシーンが判明。

暗闇の中にたたずむ、ものすごく小さい（2mmくらい）、ほむほむの後ろ姿でした。

小さいよ……。

まあ、もらえないより、ずっと嬉しいけど……。

とにかく映画は、詳しく言えませんが、まったく予想できない内容でした！

今後も長く上映が続くなら、テレビ版を最初から見直した上で、改めてもう一度見に行きたいです。

今年のクリスマスプレゼントは、プリンターのトナーがいいと思っている自分は、間違いなくワナビのカガミ。

それにしても、毎日の進捗枚数を手帳に書いていると、シーンを削ってマイナスになった時、限りなく悲しくて耐えられません。

これは、アレですね。

うまくいかないダイエットに似てますね。

モチベーションを上げるために、ダイエットグラフを付け始める

↓

しかし体重が増えてしまい、右肩上がりの推移を見せる

↓

そうこうするうちに、数値がグラフの上限を突破

↓

慌てて目盛を書き足し、限りない絶望を味わう

……………。

ちっ、違うよ！

自分の経験談じゃなくて、今のは単なる例だから！（震え声）

まあとにかく、モチベーションを上げるための行動が、逆に自分自身の首を締めてしまうあたり、進捗枚数のメモは下手なダイエットに似ていると思いました。

でも、ダイエットは諦めましたが、執筆はやめたくありませんからね！

進捗がマイナスになる日があっても、そんな自分を戒めつつ、しっかり前へ進んでいきたいです。

寒い時期は、やっぱり鍋！

今回はいつもの火鍋ではなく、しゃぶしゃぶ食べ放題ですが、これはこれでおいしかったです。



うーん。

黒い皿に乗っていると、肉の赤さが引き立って、何とも食欲をそそります。

写真のオレンジ色のダシは、「旨辛スープ」なのですが、火鍋と比べるとやっぱり薄味。でもその分、ポン酢とゴマダレ2種類の、タレがおいしかったです。

それにしても、食べ放題の店へ行くと、ガツガツ肉ばかり食べてしまう罫……。

だってー。

米や野菜を食べて、お腹がいっぱいになっちゃうの、もったいないもんー。

とまあ、そんなことを言ってるから、秘密のダイエットグラフが、右肩上がりになるわけですね（汗）

とにかく、鍋でパワーを補給したので、来週も寒さに負けずに頑張りたいです。

最近、書きたいという情熱は大きいのに、それとまったく反比例するように、執筆の時間が充分に取れない毎日だったり。

シーンを削っても、書き直すだけの時間がなく、進捗枚数がマイナスという状況で（涙）

まあでも、やりたいことが多数あるのは、とても幸せな状況だと思うので、執筆もそれ以外も頑張りたいと思います！

前回少し書いた通り、近ごろ執筆に向かえない日が多いんですが、そんな時こそ紙原稿が力を発揮すると思う次第。

やっぱり、ほら。

忙しい時の執筆って、悪循環じゃないですか。

時間がない

↓

小説ファイルを起動できない

↓

作品と自分のシンクロ率が下がる

↓

やっと時間が確保できても、波に乗るのに時間が必要

そんな時に紙原稿があると、5分や10分の小さな空き時間にも、自作を読み直しできますからね。

推敲に便利なのはもちろん、結構重要なのは、イメージトレーニングです。

ファイルを起動できなかった日でも、すでに書き上がった部分を読み直して、次に書くシーンを思い浮かべたりすれば、その作品から自分の気持ちが離れないので。

そうしておくのと、ようやく時間が取れた時に、すんなりと執筆に入っていけて、好循環を作れるような気がします。

あと、執筆中にデータが吹っ飛んでも、小まめに紙に印刷しておけば、それを見ながら再入力できたりします。

推敲によし、イメトレによし、バックアップによし。

そんなわけで、印刷が苦ではない皆様は、是非試してみてくださいはいかがでしょうか。

皆様、こんばんは。

基本的に映画は一人で見る常木らくだです。

何故一人で見るかと言うと、主義とかこだわりとかではなく、一緒に見てくれる友人がいないからです。

僕は友達が少ないどころか一人もいない。

さてさて。

まどまぎの2回目を見に行こうと、映画館のホームページをチェック。

あ、あれ？

ロフトの特典カードって、もう終わっちゃったの？

今週までだと思っていたのに、配布終了なんて残念です。

逆に言うと、先週もらったのはギリギリだったようで、ハッピーです。

6種類のランダム配布だけど、ばっちりマミさん当たったし！

ちなみに終わってしまったから言うけれど、ロフトのレジのお姉さんが、絵柄を選んでくれたっぽい素振りでした。

たぶんカゴ内のグッズがマミさん一色だったから、誰のファンか一発でバレて、キャラクターを選んでくれたんでしょうね……。

ロフトのお姉さん、本当にありがとう！

ランダム配布の特典をもらう時は、カゴ内を好きなキャラで埋め尽くすと、狙った絵柄が当たる確率がアップするかもしれません。

という、大人げない教訓を残しつつ、今夜はこれで失礼します。

最近ちっとも原稿が進まないのは寒いせい。

いや！

弁解ではなく事実です！

そんなわけで、ニトリの「着る毛布 (1,490 円)」を購入したところ、これがもう想像以上にあたたかい！！

もうね、本当に。

カイロよりも、湯たんぽよりも、エアコンよりも、ファンヒーターよりも、着る毛布がマジで最強。

やっぱり、ほら。

家電製品で部屋の空気をあたためても、結局は気温が低いので、切った瞬間に寒くなるじゃないですか。

そんな部分に電気代を使わなくても、自分の体温を逃がさないようにすれば、充分にあたたかいんだなと。

これはもう、目からウロコというか、一つの教訓。

そういうわけで、寒くて執筆がはかどらない場合は、着る毛布の着用を熱烈にオススメします。

というか、秋からこれを着ておけば、今ごろ原稿は完成していた……！

まあでも、本格的に寒いのは、これからですもんね。

着る毛布で身体をあたためつつ、冬の執筆を乗り切ろうと思います。

今書いている作品の中に、歌を歌うシーンがあるので、楽譜を探しに本屋へゴー。

いや。

ものすごく有名な曲なので、一応知ってはいるんですけど。

でもやっぱり、「記憶だけで適当に書いた」と思われたくないので、ちゃんと楽譜を理解した上で執筆したいなあーと。

そんなわけで、梅田へ行ってみたら、大量に置いてありました！

- △ 紀伊國屋（阪急駅下）
- 紀伊國屋（グランフロント）
- ジュンク堂（アバンザ）
- ◎ ジュンク堂（茶屋町）

今まで全然知らなかったけど、楽譜って、本屋に置いてある物なんですね。

特に茶屋町ジュンク堂。

楽譜だけで20棚くらいあって、あまりの多さに、こっちが逆にビビったという。

とにかく無事に購入できたので、この楽譜をしっかりと理解して、CDの音を何度も聴き込んで、それからようやく執筆です。

って、あと数日で、11月終わり？（汗）

でも、中途半端な作品を量産しても仕方ないと、GA・電撃の全滅経験から教訓を得たので、今年は一作入魂の姿勢で進もうと思います。

とりあえず、音楽の知識がゼロなので、楽譜読みから地道に頑張りますー！

便座があたたかいトイレや、座ると流水音が鳴り出すトイレは、もはや常識となっている現代日本。

その進化バージョンか何なのか知りませんが、東大阪のイオンでは、小鳥のさえずりが鳴るトイレに遭遇しました。

そして今日。

グランフロントの、6Fのトイレにて。

音は普通の流水音だったけど、用を足して立ち上がった瞬間、便器の内側が照明で光りました（汗）

えっ？

そこをライトアップする必要ってあるの？

便器内がいきなり輝いても、ロマンスなんて感じないよ？

これは何なんですか。

自分の排泄物をよく見ろってことでしょうか。

驚いて確認したんですが、便器の内側の水が出る部分の横に、小さな照明がついてるんですよ。

とりあえず、意外な部分をライトアップしたら、客はビックリして喜ぶだろ……みたいな？

うーん。

下品な話ですみませんが、設計者の意図が不明です。

結論。

最近のトイレ達は、遂げなくてもいい進化を、不必要に遂げている。

という結論が出たところで、今夜はこれにて失礼します。

おかげさまで、らくだ図書館は、更新700回を迎えました。

イエーイ！

ありがとうございます！

こうなったら、ご長寿ワナビブログとして、ギネスに載ることを目指します。

いや。

それよりも受賞を目指せって話ですね。

それはそうと、万年2次落ちの件について、あれから後も複数の方々に励ましていただきました。

なんかすみません……。

軽い冗談のつもりだったんですが……。

本当にショックを受けたら、ここには書き込まず、深夜にポテトチップスをヤケ食べします（キリッ）

でも、気を遣わせて申しわけないと同時に、こんなに心配してくれる人達がいるのかと、ハートウォーミングな気持ちになりました。

一応PV数の目安はわかるんですが、誰がどんな頻度で見ているかは、編集画面からはわからないので……。

なので、つい一方的になってしまう日もありますが、多くの皆様に共感していただける投稿ブログを、今後も目指していこうと思います。

とりあえず今は、執筆中の作品を仕上げるのと、ブログ2周年を目指して頑張ります！

ガガガの1次結果を確認してきましたが、記事タイトルの通り、自分が送っていた作品は1次落ちでした。

ってか、「ガガガガーン！」ネタ、去年もやったんですけどね。

仕方ないじゃん！

ガガガで落選したら、こう言うしかないよ！

ちなみにルルルで落選した場合、タイトルは「ヒュルルル～」ですので、どうぞよろしくをお願いします。

通過しそうな気が全然しないので、これから数週間のうちに、そういう記事が上がると思います。

まあでもガガガは、昔の作品を記念に1本送っただけなので、落ちても無傷ですね。

電撃で全滅してから本気の創作スイッチが入って、夏以降に書いた作品は数倍レベルアップしている（と思う）ので、去年までの作品が落ちても正直悔しくないというか。

落選後にこんな話をして、完全に「すっぱい葡萄のキツネ」ですが、今年書いた作品ならたぶん落ちないと思うわけです。

ん……？

すっぱい葡萄のツネキ……？

ともかく、「まだSDとHJがある」と、気持ちを奮い立たせることにします。

というわけで、1次通過された皆様、おめでとうございます！

残念ながら落選だった皆様（自分も）、めげずに次へ向かいましょう！